

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel 0120-094-777（通話料無料）
公 告 方 法	電子公告 ホームページ: http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。
単 元 株 式 数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所市場第二部
インターネットホームページ	http://www.soft99.co.jp

（ご注意）

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.soft99.co.jp>

IR情報は、こちらのボタンをクリックしてください。



株主様向け三田工場見学会のご案内

株主様向けの工場見学会を下記の通り実施いたします。

- 日時（各回10名様）
平成28年3～5月の各月1回（所要時間約2時間）
- 見学場所
三田工場（兵庫県三田市テクノパーク14-1）
*工場までの交通費は各自のご負担とさせていただきます。
*写真撮影はご遠慮ください。
- 対象者
当社株式100株以上をご所有の株主様
*同伴者は小学生以上の方1名までとさせていただきます。
- 応募・お問合せ先
人事総務部
TEL 06-6942-8761



第62期 中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日

ソフト99コーポレーション

株主の皆さまへ

『生活文化創造企業』の
経営理念のもと、
更なる成長を目指します。代表取締役社長
田中 秀明

当第2四半期連結累計期間業績についてのご報告

当第2四半期連結累計期間までの市場環境は、円安に伴う物価の上昇や、中国経済の急速な減速懸念など依然として不透明な状況が続いておりますが、一方で企業収益や雇用環境の改善が続き賃金水準も向上するなど緩やかな回復がみられました。

このような中、当社グループは『生活文化創造企業』の経営理念のもとで、「お客様に長く愛される」新たな製品・サービスの創出を目指して各事業において営業活動に努め

てまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は全ての事業セグメントにおいて売上・利益が前年同期を上回る結果となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については投資有価証券売却益を特別利益に計上したことで、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

当第2四半期連結累計期間における主な取り組みについてのご報告

主力のファインケミカルセグメントにつきましては、

国内向け販売においては主力カテゴリーへの新製品投入、海外向け販売においては、ローカライズ強化方針に基づいて、現地語パッケージ製品の拡充に取り組んでまいりました。また平成27年1月より新たな事業として始まったTPMS事業は運送業界への営業に注力したことで、トラックをはじめとする大型車への導入が進みました。

ポーラスマテリアルセグメントにつきましては産業資材において、国内市場は在庫調整局面から回復するとともに、海外からも受注が増加しました。

生活資材においては継続的な新製品の開発や、OEMの新規受注に努めてまいりました。

サービス・不動産関連セグメントにおいては運営効率の更なる向上に努めてまいりました。

通期の見通しについてのご報告

各セグメントにおきましては、消費マインドが回復基調にあるものの、円安や原材料高騰など引き続き厳しい環境が続くと予想されます。このような中、当社グループとし

ては引き続き、「新しいこと」への挑戦を継続し、新たな製品、サービスの創出を行ってまいります。通期の業績予想につきましては平成27年10月26日に発表いたしました通り、連結売上高22,100百万円、連結営業利益2,020百万円、連結経常利益2,220百万円、連結親会社株主に帰属する当期純利益1,560百万円となります。

株主のみなさまへメッセージ

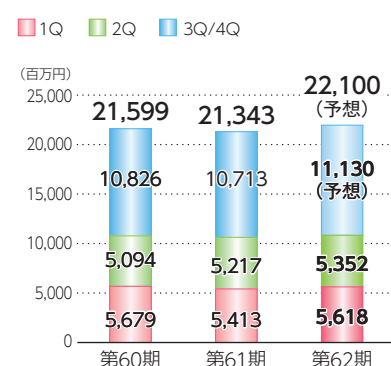
今後も当社グループは『生活文化創造企業』の経営理念のもと「未来のあたりまえ」となるような、お客様から末永く愛される製品・サービスの創出を目指し、「新しいこと」への挑戦を継続することで中期経営計画の最終計画の達成へとつなげてまいりたいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

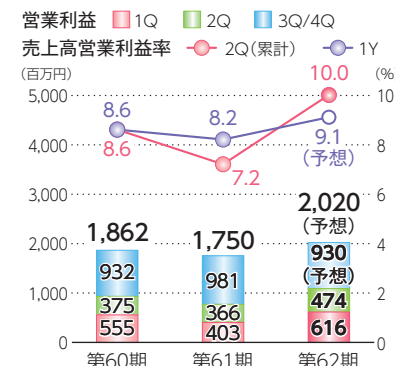
FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結財務ハイライト

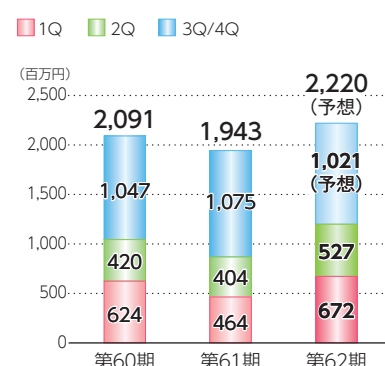
売上高



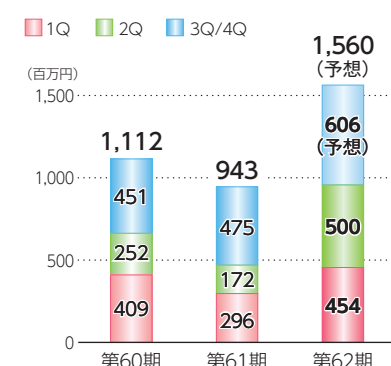
営業利益・売上高営業利益率



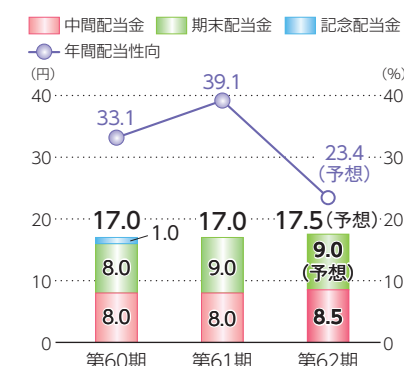
経常利益



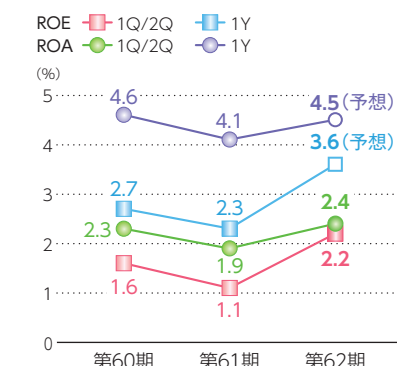
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益※



1株当たり配当金・配当性向



ROE・ROA



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの科目名も統一しております。

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期（累計） （26.4.1 から 26.9.30 まで）	当第2四半期（累計） （27.4.1 から 27.9.30 まで）
売上高	10,630	10,971
売上原価	6,951	7,015
売上総利益	3,678	3,955
販売費及び一般管理費	2,908	2,863
営業利益	769	1,091
営業外収益	108	115
営業外費用	9	6
経常利益	868	1,200
特別利益	4	264
特別損失	83	11
税金等調整前四半期純利益	789	1,453
親会社株主に帰属する 四半期純利益*	468	954

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point | 営業利益

- 売上総利益の増加
 - ・ファインケミカル
 - 粗利の高い業務用製品販売が大きく伸長するとともに海外向け製品販売の粗利改善により増益となる。
 - ・ポーラスマテリアル
 - 輸出における利益改善と工場的好調な稼働により増益となる。
- 販売費及び一般管理費の減少
 - 主に、前期に発生した当社の新製品発売に伴う大きな広告費用が減少したことによるもの。

Point | 親会社株主に帰属する四半期純利益

- 投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより増益となる。

SEGMENT INFORMATION

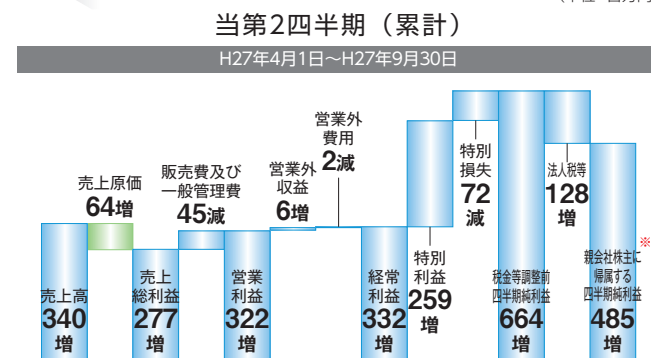
セグメント別概況

セグメント別売上高構成比



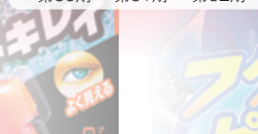
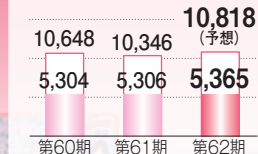
前年同期との比較

（単位：百万円）



Fine Chemical ファインケミカル

（単位：百万円）



▲ 海外のコーティング施工店

消費者向け製品販売

- ボディお手入れ製品は洗車用品は好調であったものの、ボディコーティング剤は苦戦し、前年同期をわずかに下回る。
- ガラスお手入れ製品は新製品の投入やワイパーの新規得意先への導入が進み、前年同期を上回る。
- 自動車用補修製品は得意先の在庫調整が影響し、販売が減少。

業務用製品販売

- 自社ブランドコーティング剤は既存得意先との取り組み強化や新規開拓により増加。
- 自動車メーカー向けOEM製品においては受注が増加し、前年同期を上回る。

家庭用製品販売

- メガネケア製品のリピート受注と店舗での企画採用が進み、また昨年商品パッケージのリニューアルに伴い発生した返品が今期は発生せず、前年同期を上回る。

海外向け製品販売

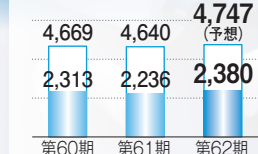
- 中国向けは現地生産、輸出ともに前年同期を上回る。
- 東アジア向けにおいては韓国へのガラスケア関連製品の出荷が好調に推移し前年同期を上回る。
- 東南アジア向けはタイ・インドネシア向けの受注が苦戦し前年同期を下回る。
- ロシア向けにおいては景気後退の影響が依然残り、厳しい状況が続いたため、前年同期を下回る。

TPMS企画・開発・販売

- 平成27年1月より株式会社オレンジ・ジャパンを子会社化し事業を開始。トラック向け製品が新規開拓と既存顧客からのリピート受注増加により、販売を伸ばす。

Porous Materials ポーラスマテリアル

（単位：百万円）



産業資材分野

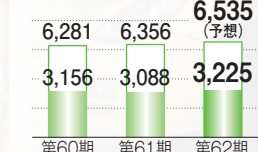
- 国内販売は在庫調整が続いていた半導体向け出荷が回復、海外販売においても好調を維持。また医療用途向けにおいても得意先のリピート受注が増加し前年同期を上回る。

生活資材分野

- 国内向けは『家庭用超吸水スポンジ』の受注が増加、またOEMにおいては自動車向け新規採用、スポーツ用途向けOEM供給増加によって、前年同期を上回る。海外向けはアメリカ・インドネシアが伸長し前年同期を上回る。

Service / Real Estate サービス・不動産関連

（単位：百万円）



サービス事業

- 自動車整備钣金事業
 - ・保険適用の修理市場が縮小する中、在庫促進施策強化と修理単価アップでカバーするとともに、輸入車ディーラーの在庫増加により前年同期を上回る。
- 自動車教習事業
 - ・時間単価の高い職業免許の稼働が好調に推移し前年同期を上回る。
- 生活用品企画販売事業
 - ・生協向け、インターネット向けともに好調に推移し前年同期を上回る。

不動産関連

- 不動産賃貸事業
 - ・保有物件の稼働率上昇により、前年同期を上回る。
- 温浴事業
 - ・来場者数が減少するも飲食等の付帯売上が増加し、前年同期並みとなる。
- 介護予防支援事業
 - ・周辺地域への営業活動を継続し、利用者数増加を促進。

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	前期末 (27.3.31 現在)	当第2四半期末 (27.9.30 現在)
資 産 の 部		
流動資産	19,331	20,352
固定資産	28,736	28,424
有形固定資産	21,917	21,789
無形固定資産	132	115
投資その他の資産	6,685	6,519
資産合計	48,068	48,777
負 債 の 部		
流動負債	2,905	2,968
固定負債	3,523	3,645
負債合計	6,428	6,613
純資産の部		
株主資本	41,006	41,814
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,137	3,229
利益剰余金	35,834	36,593
自己株式	▲ 275	▲ 318
その他の包括利益累計額	633	348
純資産合計	41,639	42,163
負債、純資産合計	48,068	48,777

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期（累計） (26.4.1 から 26.9.30 まで)	当第2四半期（累計） (27.4.1 から 27.9.30 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	639	1,038
投資活動による キャッシュ・フロー	340	▲ 7
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 225	20
現金及び現金同等物 に係る換算差額	▲ 1	0
現金及び現金同等物 の増加額	753	1,052
現金及び現金同等物 の期首残高	10,835	12,063
現金及び現金同等物 の期末残高	11,588	13,115

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point | キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益 1,453百万円
減価償却費 331百万円
売上債権の増減額（▲は増） ▲106百万円
法人税等の支払額 ▲346百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得支出 ▲164百万円
有価証券・投資有価証券の取得支出 ▲905百万円
有価証券・投資有価証券の売却・償還収入 1,080百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー

「従業員持株会支援信託ESOP」導入による自己株式
処分収入246百万円、借入金増加198百万円
配当金の支払額▲195百万円

STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

株式の状況 & 会社の概要

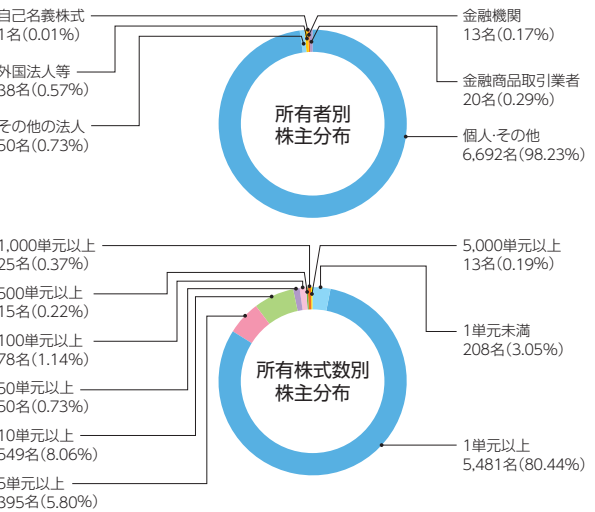
株式の状況（平成27年9月30日現在）

株式の総数
発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式総数 22,274,688株

株主数
当第2四半期末株主数 6,814名
（自己名義を含む）

大株主	持株数	持株比率
サントレード株式会社	3,246,528 株	14.6 %
鈴木 幹子	1,492,656	6.7
CGML PB CLIENT ACCOUNT / COLLATERAL	1,192,200	5.4
ロイヤルバンクオブカナダトラスト カンパニー(ケイマン)リミテッド	948,400	4.2
株式会社エイチイーエス	835,000	3.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	819,000	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	799,200	3.6
株式会社みずほ銀行	709,600	3.2
田中 秀明	661,976	3.0
田中 信	603,720	2.7

※持株比率は、自己株式数（237,500株）を控除して計算しております。



会社の概要（平成27年9月30日現在）

商 号 株式会社ソフト99コーポレーション
設 立 昭和29年10月28日
本 社 大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資 本 金 2,310,056,000円
従 業 員 数 198名
事 業 内 容 自動車用化学製品の製造及び販売

役員（平成27年9月30日現在）

代表取締役社長 田 中 秀 明
取締役会長 田 中 明 三
常務取締役 西 川 保
常務取締役 辻 平 春 幸
取締役 奥 埜 佳 秀
取締役 石 居 誠
取締役 田 中 信
取締役（社外）※ 中 務 英 三
常勤監査役 古 居 祐
監査役（社外）※ 平 井 康 博
監査役（社外）※ 竹 村 聡
監査役（社外）※ 樋 口 秀 明

※上記4名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。